

## 6. 琵琶湖の生態系

### (1) 琵琶湖で行く地域と活動

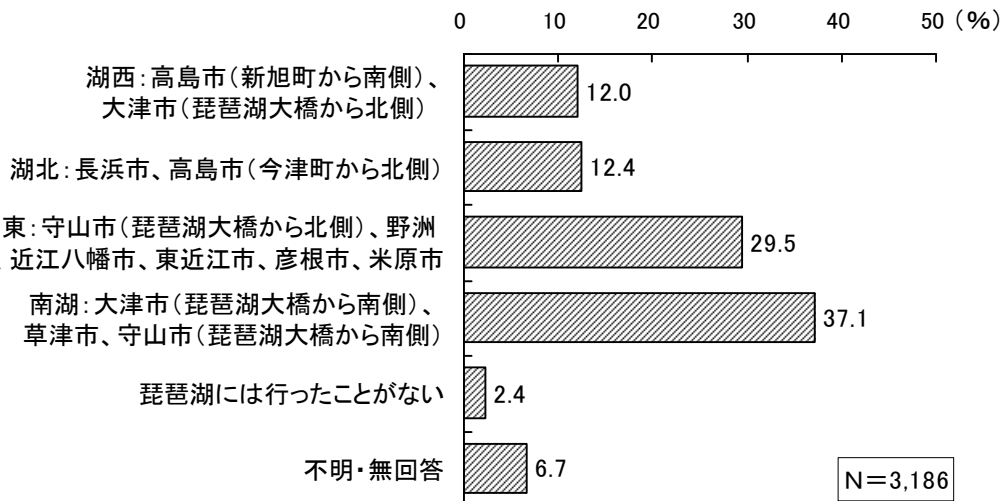
問 29 あなたが、琵琶湖で最もよく行く地域はどの辺りですか。(〇は1つまで) また、その地域で、主にどのようなことをしますか。(〇は3つまで)

#### ① 琵琶湖で最もよく行く地域

##### ◆ 「南湖」が37.1%

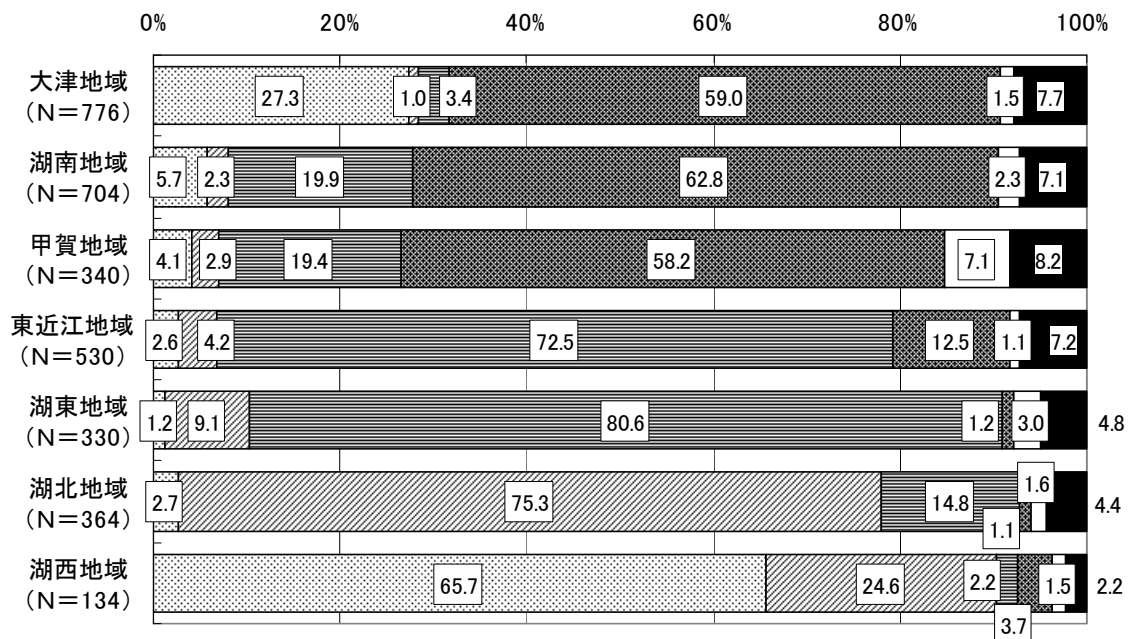
「南湖」が37.1%と最も高く、次いで「湖東」29.5%となっている。

「琵琶湖には行ったことがない」はわずか2.4%であった。



#### 【地域別】

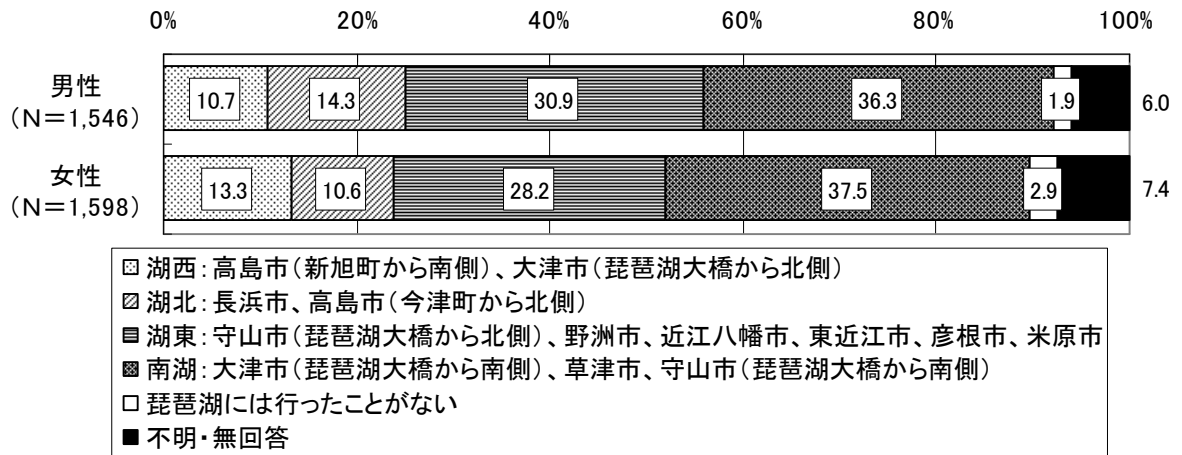
大津・湖南・甲賀地域は「南湖」が、東近江・湖東地域は「湖東」が、湖北地域は「湖北」が、湖西地域は「湖西」が最も高く、それぞれの地域に最も近い琵琶湖によく行くという回答している。



□ 湖西: 高島市(新旭町から南側)、大津市(琵琶湖大橋から北側)  
 ▨ 湖北: 長浜市、高島市(今津町から北側)  
 ▩ 湖東: 守山市(琵琶湖大橋から北側)、野洲市、近江八幡市、東近江市、彦根市、米原市  
 ■ 南湖: 大津市(琵琶湖大橋から南側)、草津市、守山市(琵琶湖大橋から南側)  
 □ 琵琶湖には行ったことがない  
 ■ 不明・無回答

**【性別】**

男女とも「南湖」が最も高く、次いで「湖東」の順となっている。



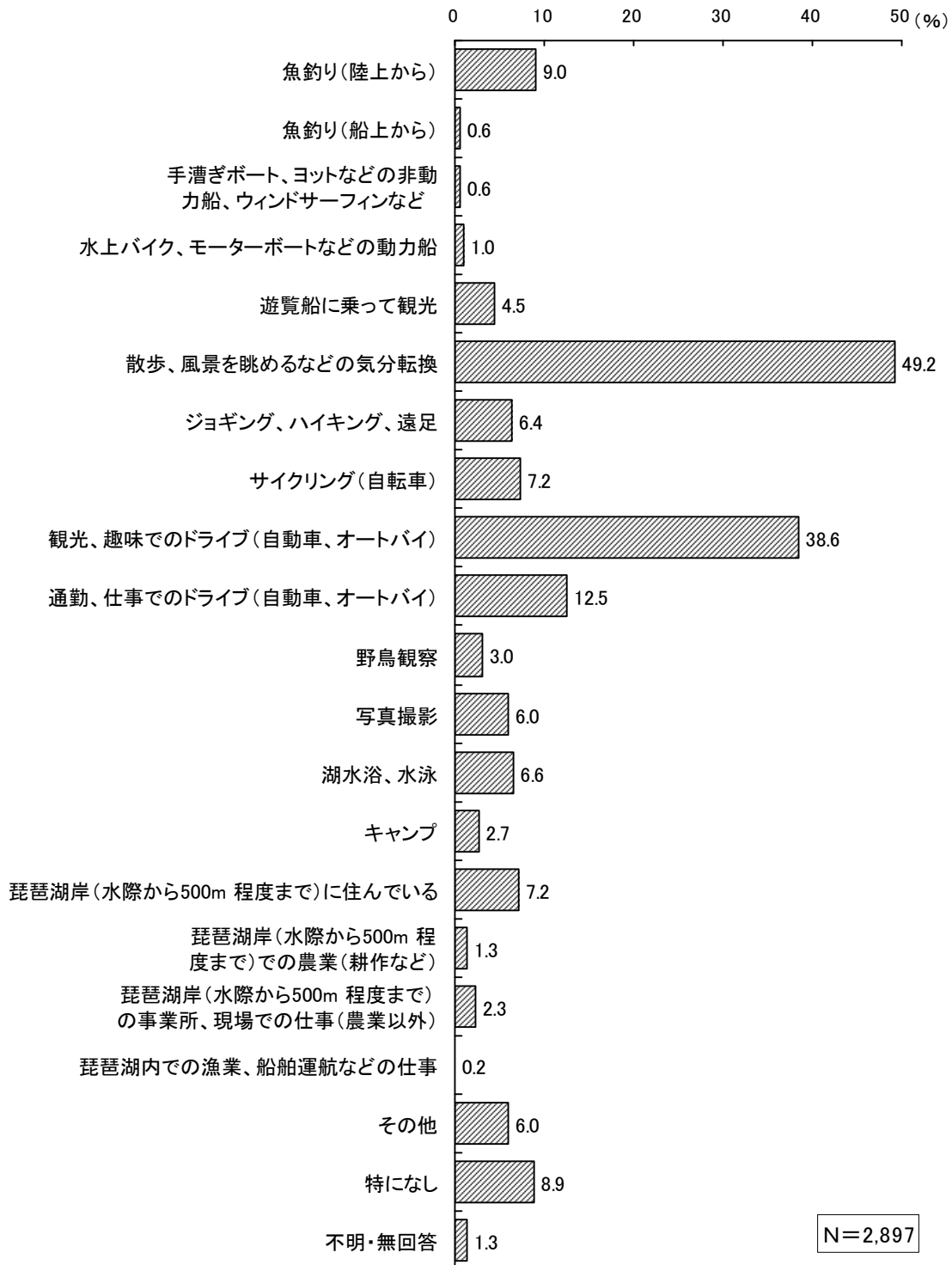
**【性・年代別】**

男性の30・50・60歳代、女性の20・50歳代では「湖東」が最も高く、男女ともその他の年代では「南湖」が高くなっている。

②その地域で主に行う活動

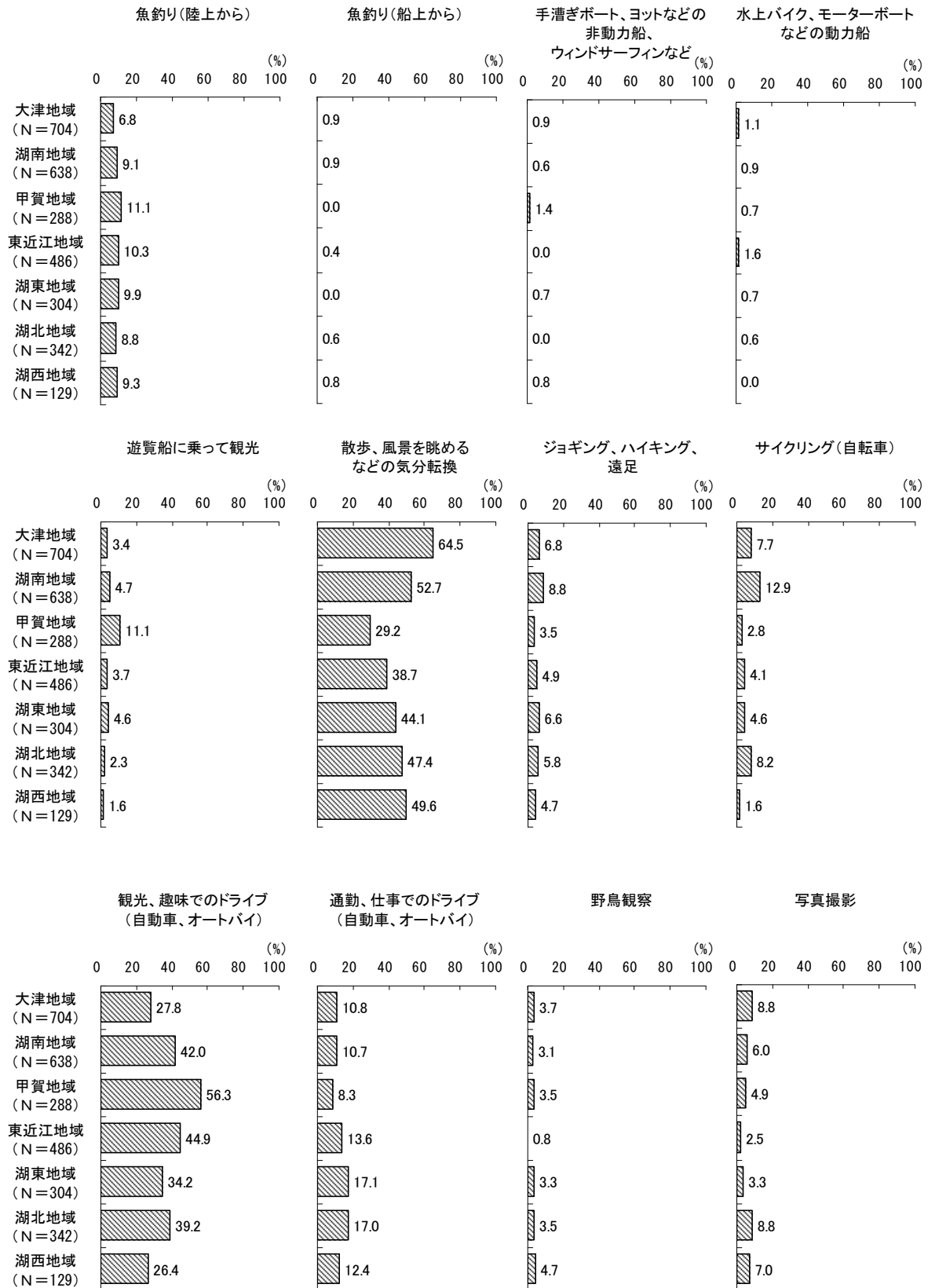
◆「散歩、風景を眺めるなどの気分転換」が49.2%

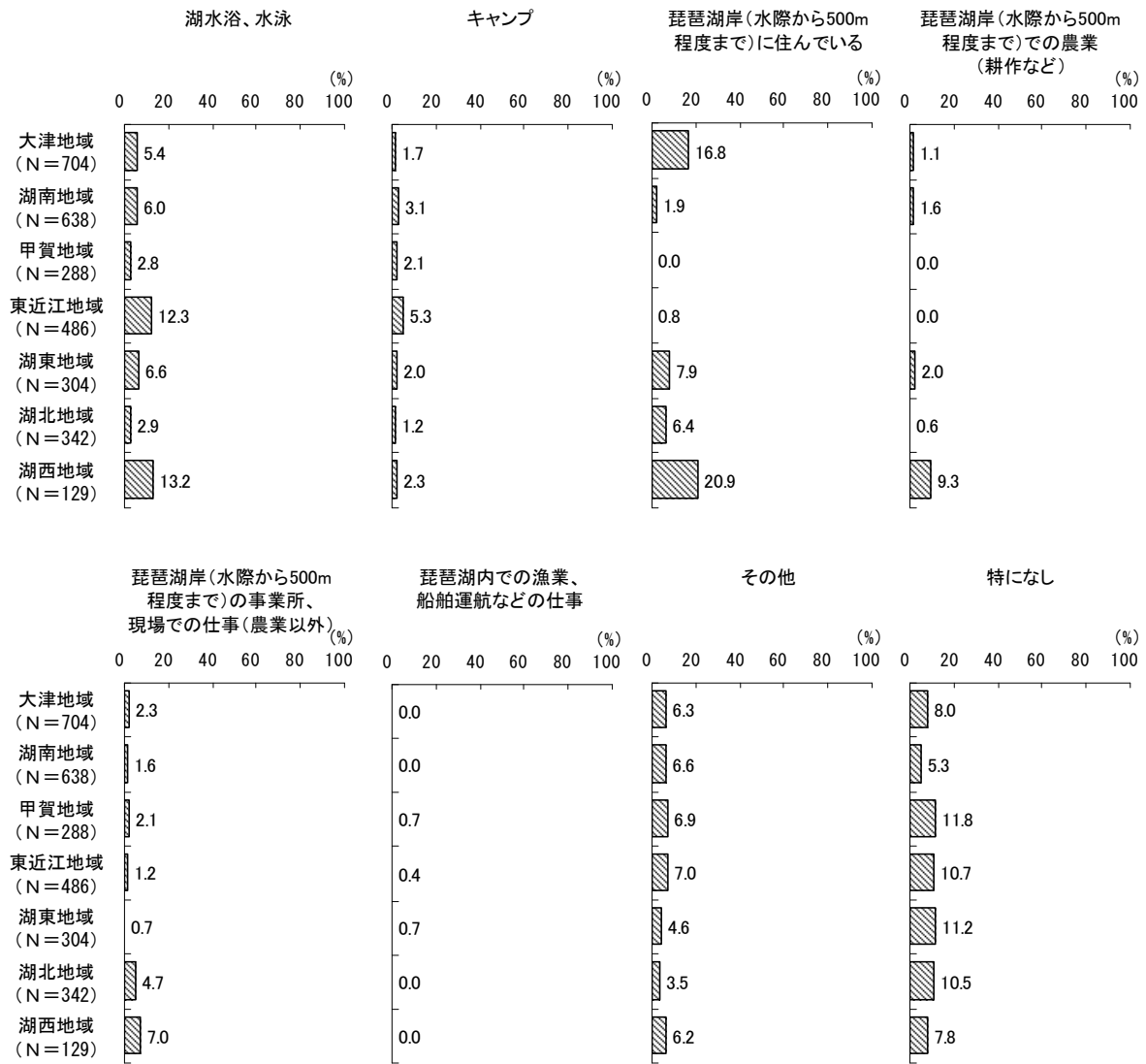
主に行う活動は、「散歩、風景を眺めるなどの気分転換」が49.2%と最も高く、「観光、趣味でのドライブ（自動車、オートバイ）」38.6%が続き、この2項目が大部分を占めている。



## 【地域別】

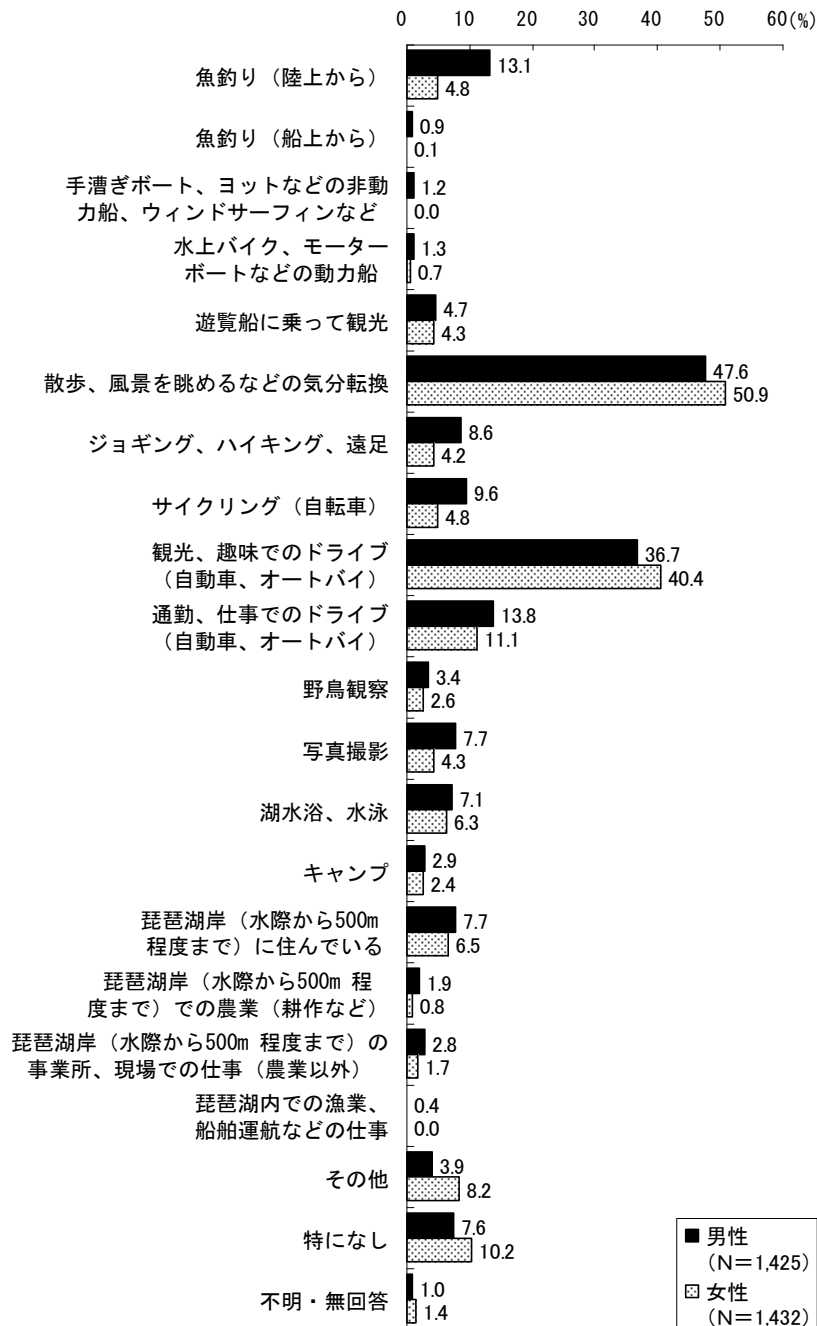
甲賀・東近江地域では「観光、趣味でのドライブ（自動車、オートバイ）」が、その他の地域では「散歩、風景を眺めるなどの気分転換」が最も高くなっている。





## 【性別】

男女とも「散歩、風景を眺めるなどの気分転換」が最も高く、「観光、趣味でのドライブ（自動車、オートバイ）」が続く。「魚釣り（陸上から）」は男性（13.1%）が女性（4.8%）より8.3ポイント高くなっている。



## 【性・年代別】

女性の20歳代では「観光、趣味でのドライブ（自動車、オートバイ）」が最も高く、女性のその他の年代と男性のすべての年代では「散歩、風景を眺めるなどの気分転換」が最も高くなっている。

「通勤、仕事でのドライブ（自動車、オートバイ）」は、男性の50歳代、女性の40歳代で、「湖水浴、水泳」は男女とも20～30歳代で、「写真撮影」は男性の60歳以上で、他の年代に比べて高くなっている。

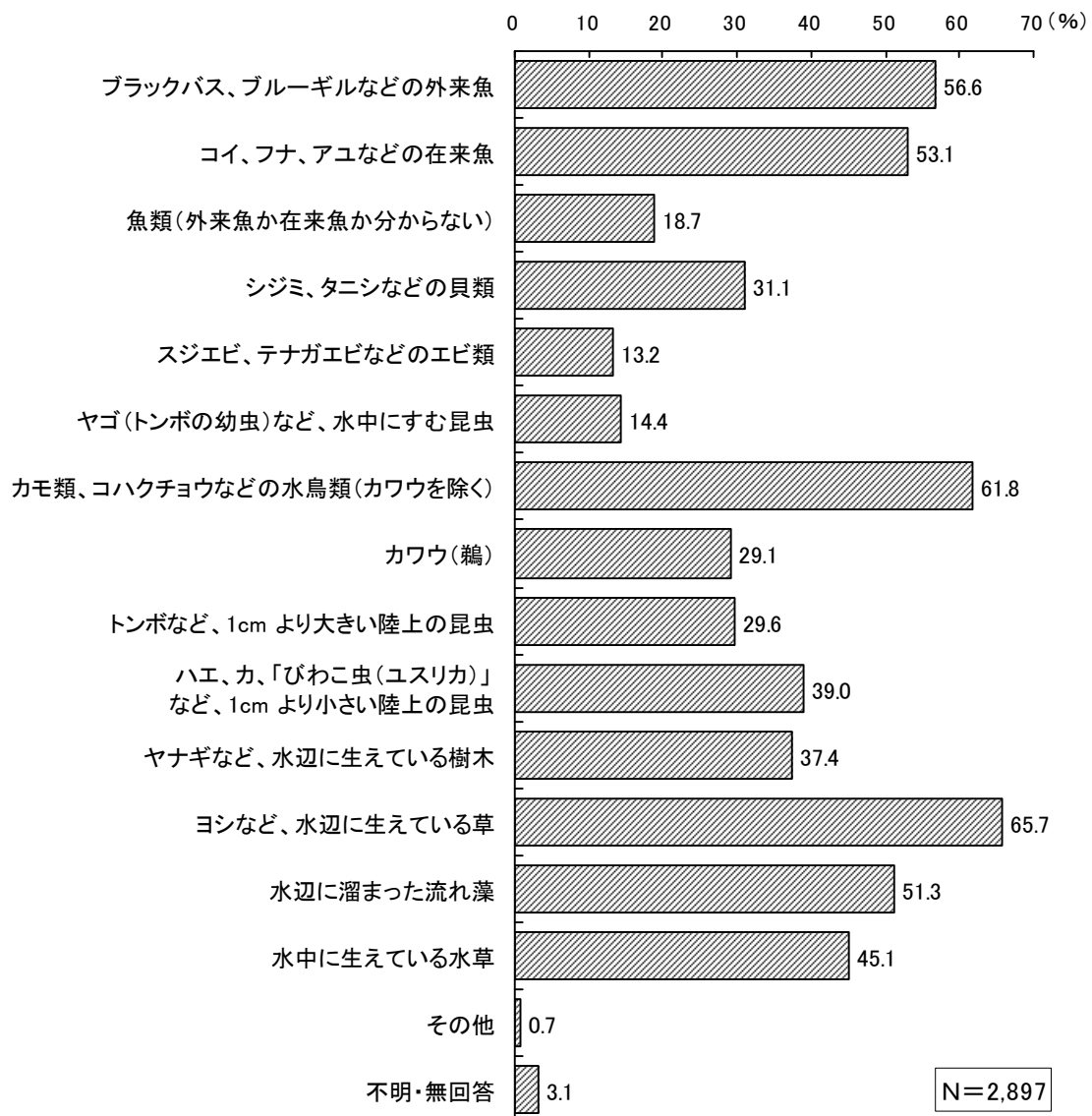
## (2) 琵琶湖の生き物

### ① 琵琶湖で見る生き物

問 30 あなたは、問 29 で選んだ地域で、次のうち、琵琶湖でどのような生き物を見たことがありますか。(〇はいくつでも)

#### ◆ 「ヨシなど、水辺に生えている草」が 65.7%

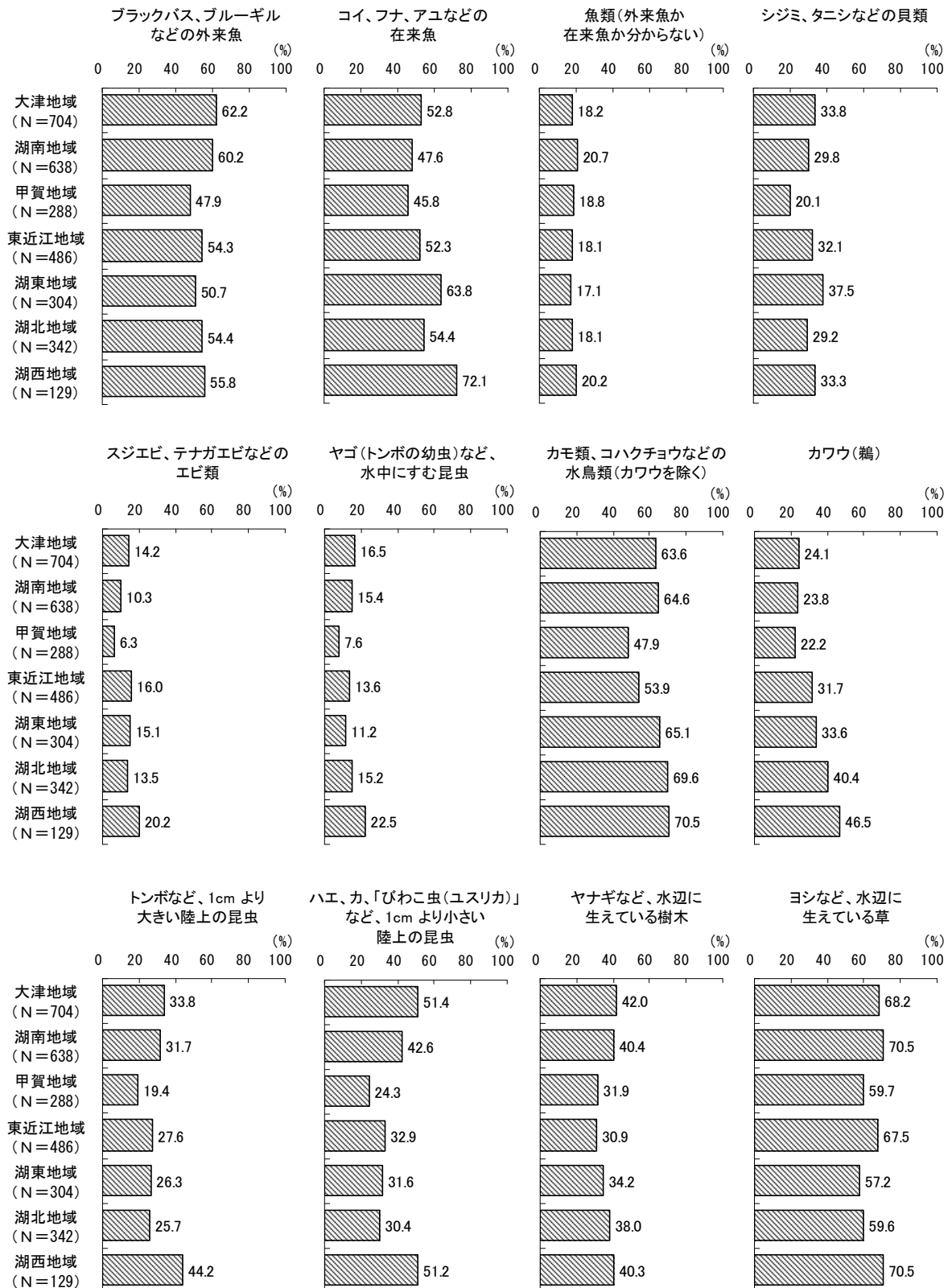
琵琶湖で見たことがある生き物については、「ヨシなど、水辺に生えている草」が 65.7%と最も高く、次いで「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が 61.8%、「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」56.6%、「コイ、フナ、アユなどの在来魚」53.1%の順となっている。



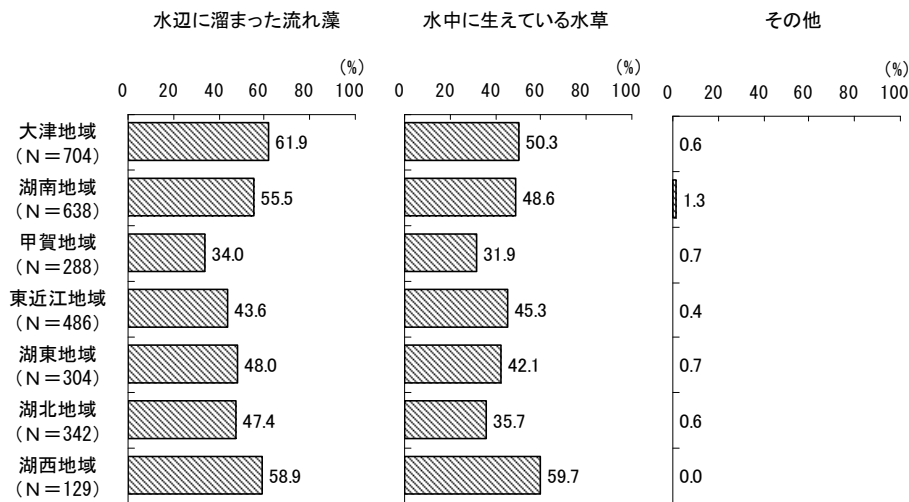
## 【地域別】

湖東・湖北地方では「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が、湖西地域では「コイ、フナ、アユなどの在来魚」が、その他の地域では「ヨシなど、水辺に生えている草」が最も高くなっている。

また、「カワウ（鶺鴒）」、「トンボなど、1cm より大きい陸上の昆虫」、「水中に生えている水草」は湖西地域で、「ハエ、カ、『びわこ虫（ユスリカ）』など、1cm より小さい陸上の昆虫」は、大津・湖西地域で他の地域と比べて高くなっている。



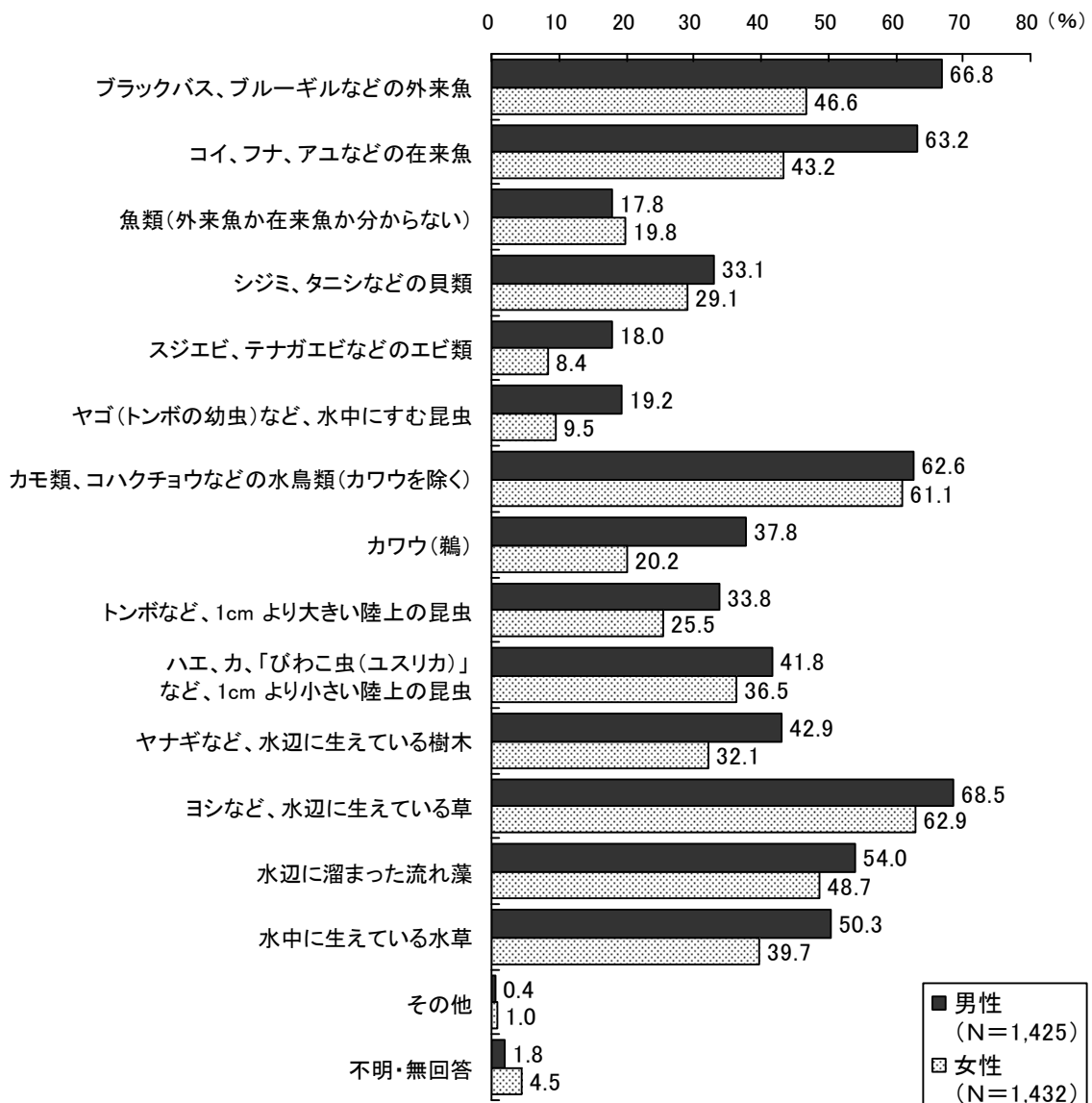




### 【性別】

男女とも「ヨシなど、水辺に生えている草」が最も高くなっている。

「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」「コイ、フナ、アユなどの在来魚」では、男性の方が女性に比べ20ポイント以上高くなっている。



### 【性・年代別】

男性では、20～40 歳代は「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が、50～60 歳代では「ヨシなど、水辺に生えている草」が、70 歳以上では「コイ、フナ、アユなどの在来魚」が最も高くなっている。

女性では、30 歳代では「水辺に溜まった流れ藻」が、40 歳代では「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が、その他の年代では「ヨシなど、水辺に生えている草」が最も高くなっている。

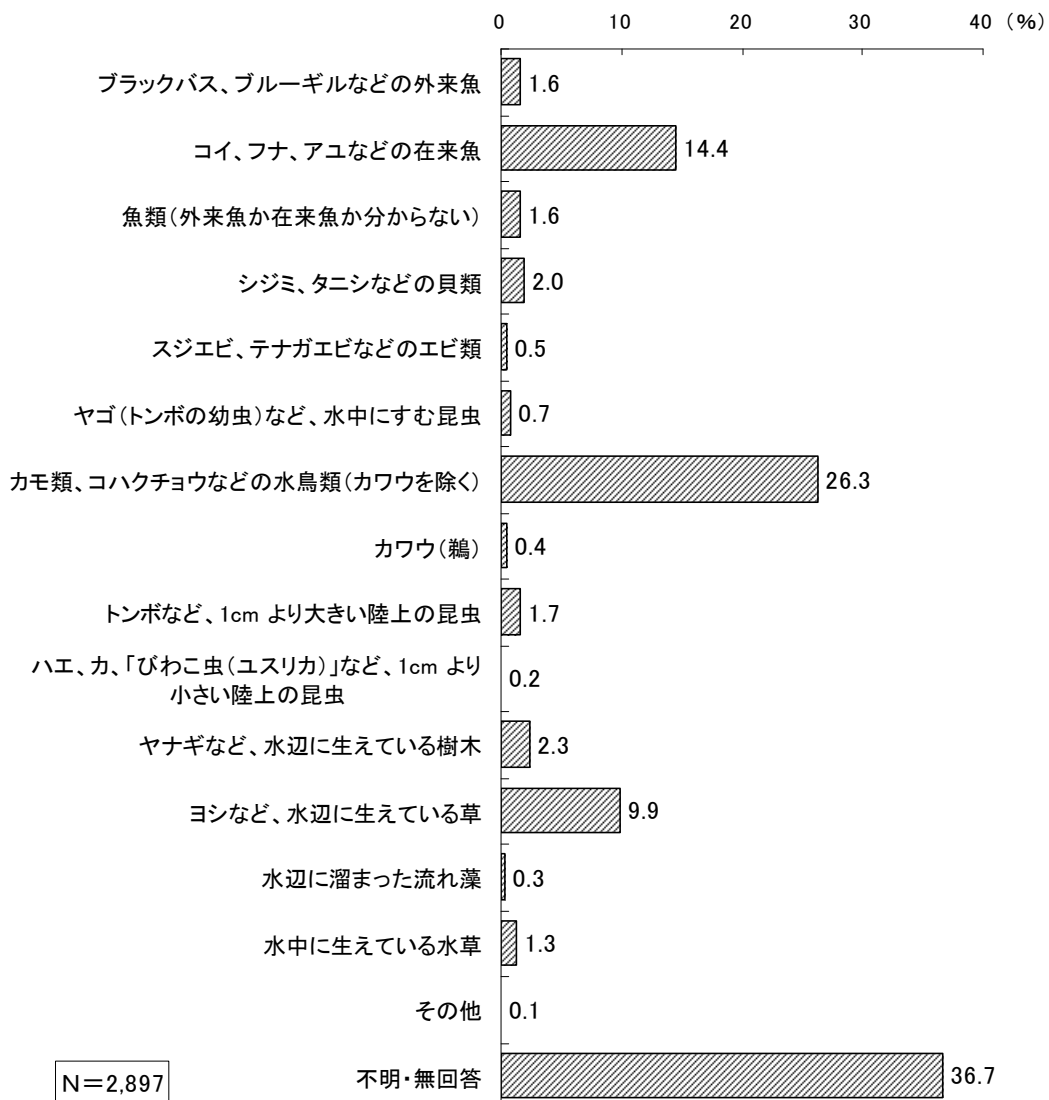
### ②琵琶湖の生き物の印象

問 31 問 30 で選んだ生き物のうち、あなたが最も良い印象、最も悪い印象を持った生き物があれば記入してください。（番号はそれぞれ1つ）また、その理由は何ですか。（○はそれぞれ1つまで）

#### 1) 最も良い印象の生き物

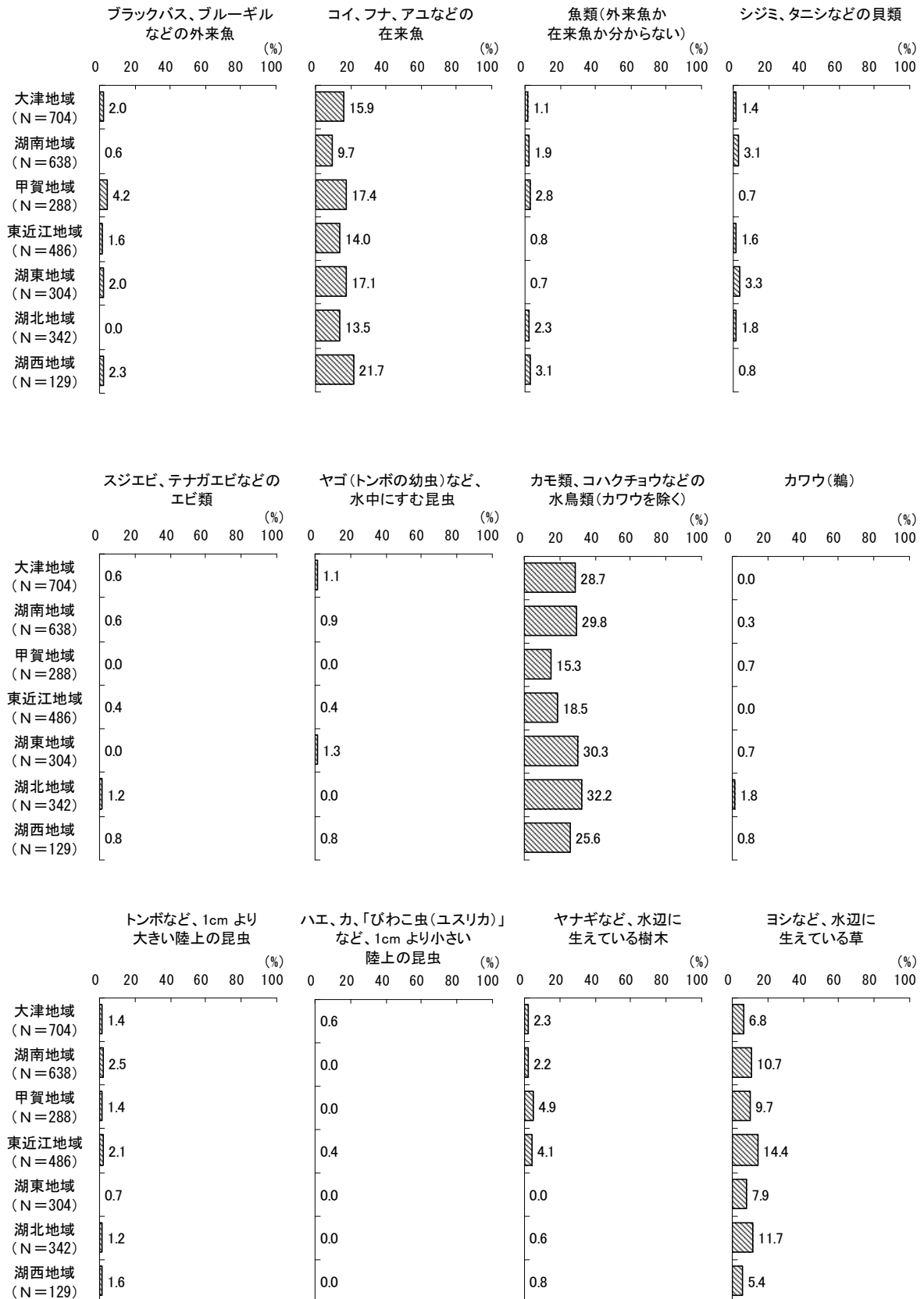
#### ◆「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が 26.3%

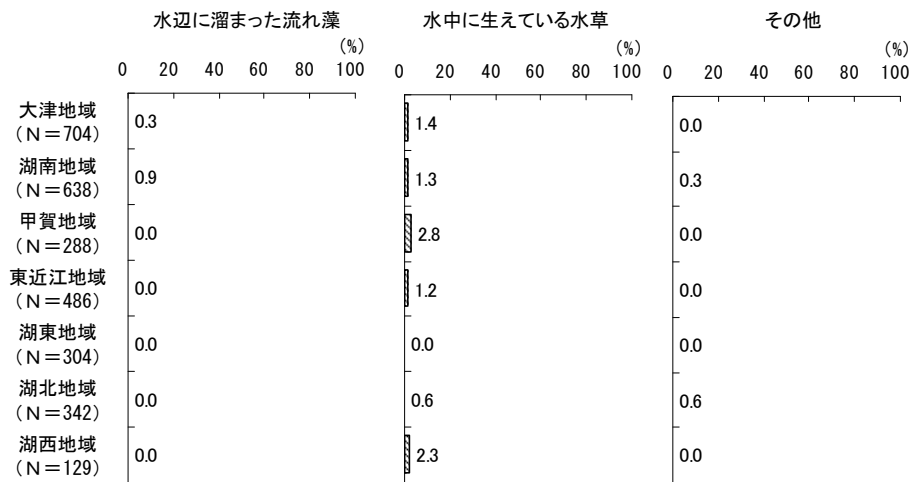
最も良い印象の生き物は、「不明・無回答」を除くと、「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が 26.3%と最も高く、次いで「コイ、フナ、アユなどの在来魚」の順となっている。



## 【地域別】

「不明・無回答」を除くと、甲賀地域では「コイ、フナ、アユなどの在来魚」が最も高く、その他の地域では「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が最も高くなっている。

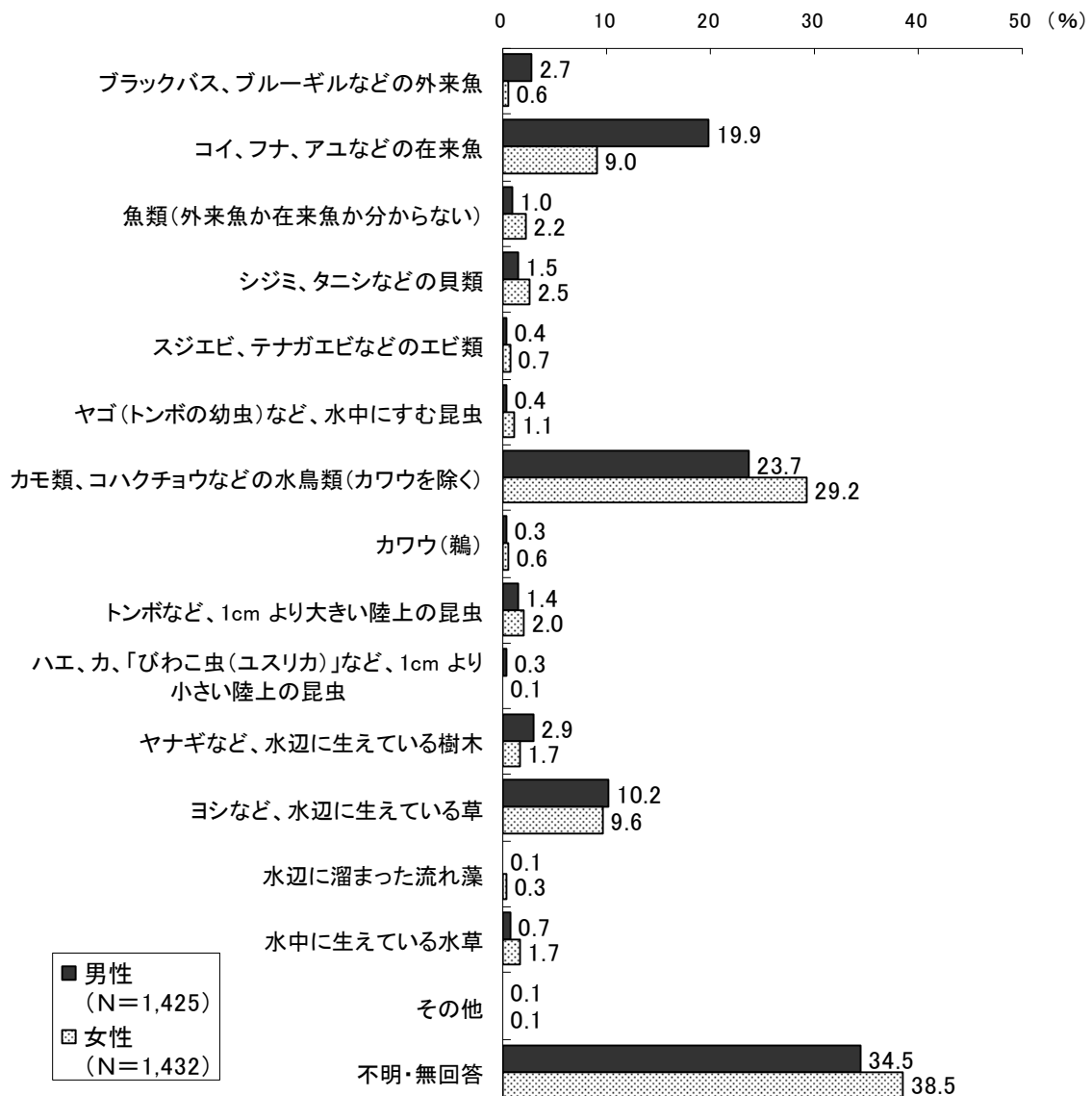




### 【性別】

「不明・無回答」を除くと、男女とも「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が最も高いが、男性（23.7%）より女性（29.2%）の方が5.5ポイント高くなっている。

また、次いで男性では「コイ、フナ、アユなどの在来魚」が、女性では「ヨシなど、水辺に生えている草」が続いており、「コイ、フナ、アユなどの在来魚」では、男性（19.9%）が女性（9.0%）より10.9ポイント高くなっている。



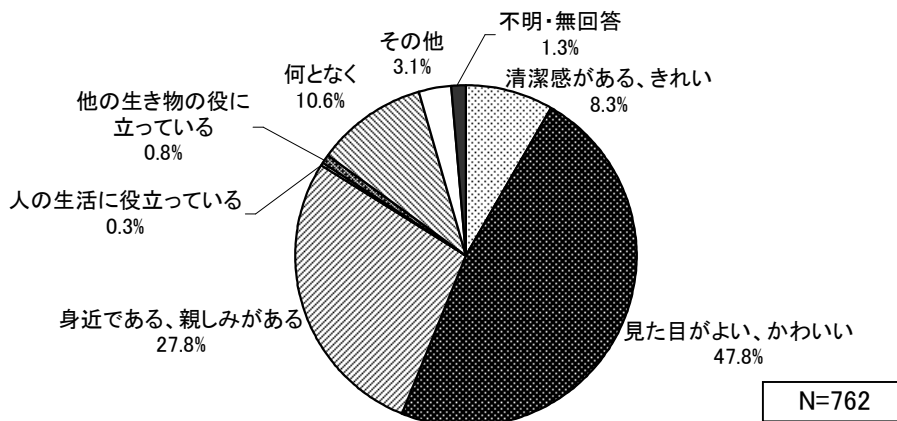
## 【性・年代別】

「不明・無回答」を除くと、男性の50歳代・70歳以上では「コイ、フナ、アユなどの在来魚」が、男性のその他の年代と女性のすべての年代では「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」が最も高くなっている。

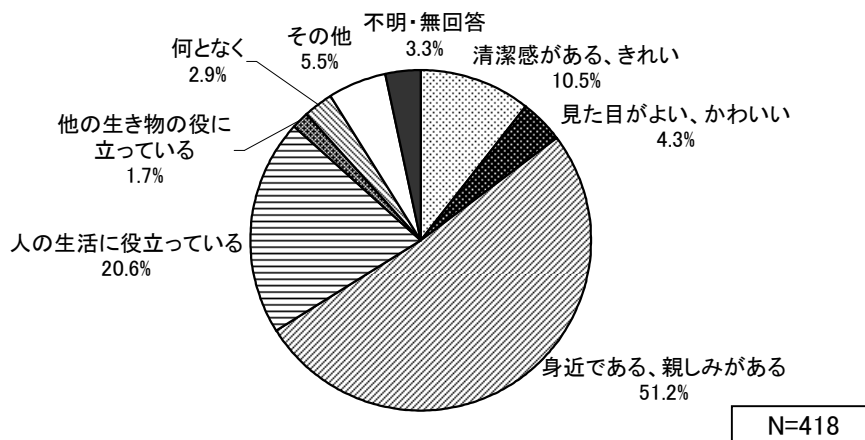
### 2) 最も良い印象の生き物を選んだ理由（回答数が100件以上あった項目のみ）

最も良い印象の生き物について、選んだ理由をみると、「カモ類、コハクチョウなどの水鳥類（カワウを除く）」では、「見た目がよい、かわいい」が47.8%で半数近くを占めている。「コイ、フナ、アユなどの在来魚」では、「身近である、親しみがある」が51.2%で5割を超えている。「ヨシなど、水辺に生えている草」では、「他の生き物の役に立っている」が45.8%と半数近くを占めている。

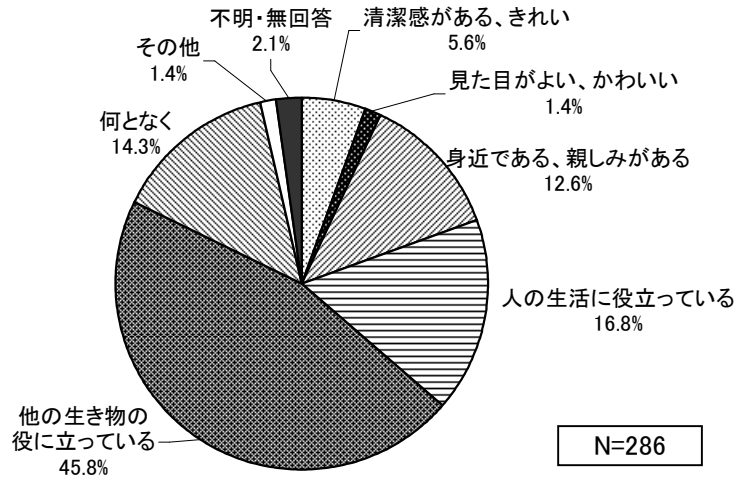
#### 7.カモ類、コハクチョウなどの水鳥類(カワウを除く)



#### 2.コイ、フナ、アユなどの在来魚



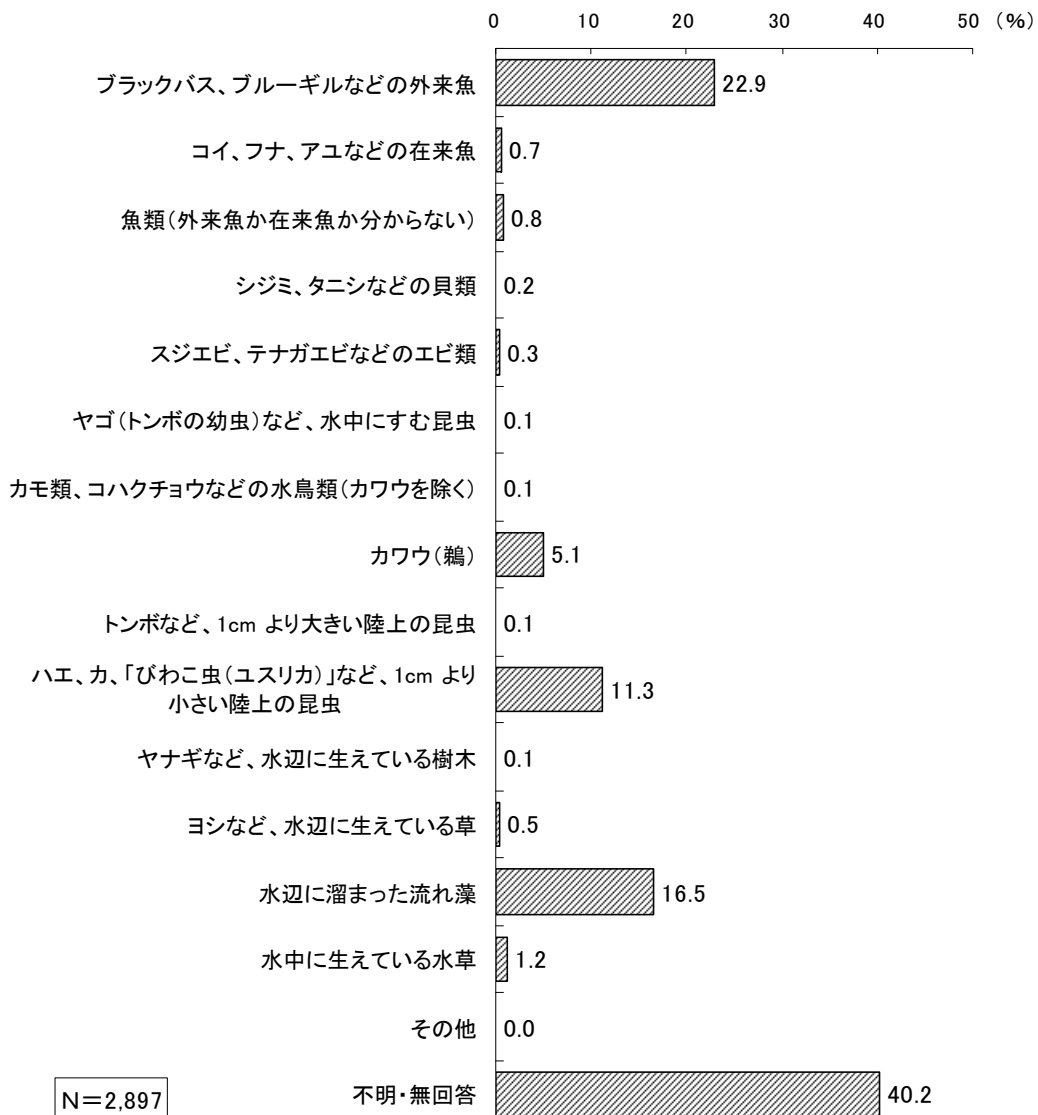
### 12.ヨシなど、水辺に生えている草



### 3) 最も悪い印象の生き物

#### ◆「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が 22.9%

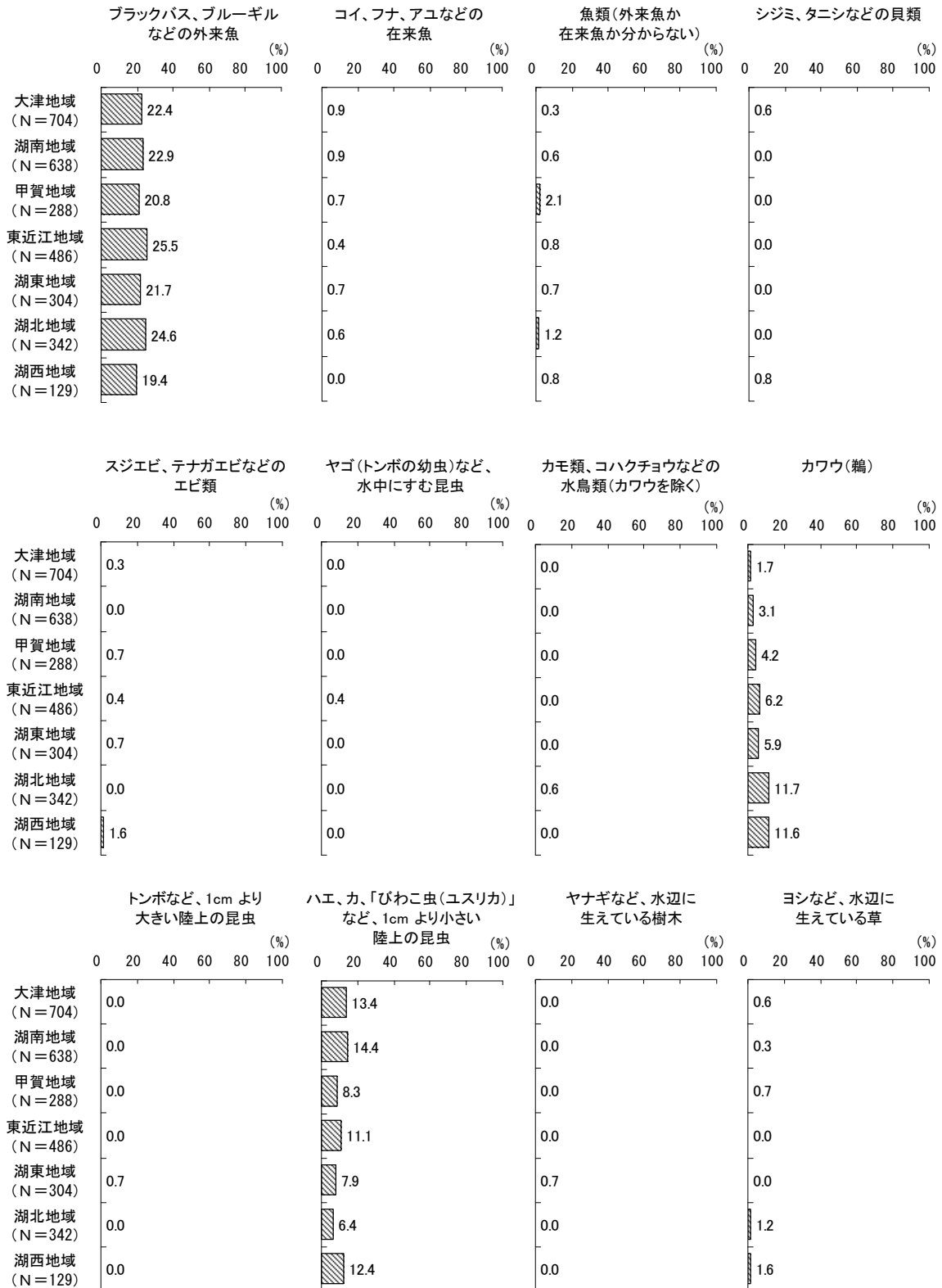
最も悪い印象の生き物は、「不明・無回答」を除くと、「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が 22.9%と最も高く、次いで「水辺に溜まった流れ藻」(16.5%)の「ハエ、カ、『びわこ虫(ユスリカ)』など、1cmより小さい陸上の昆虫」(11.3%)の順となっている。

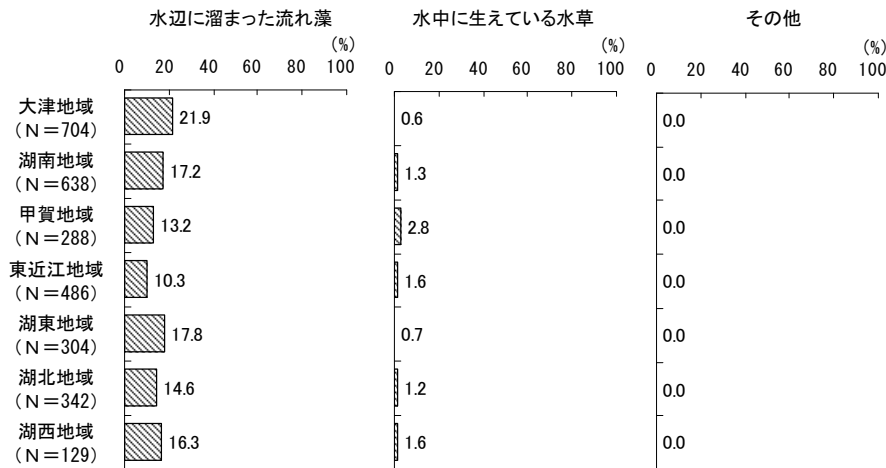


## 【地域別】

「不明・無回答」を除くと、すべての地域で「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が最も高く、次いで東近江地域では「ハエ、カ、『びわこ虫（ユスリカ）』など、1cmより小さい陸上の昆虫」が、その他の地域では「水辺に溜まった流れ藻」が続いている。

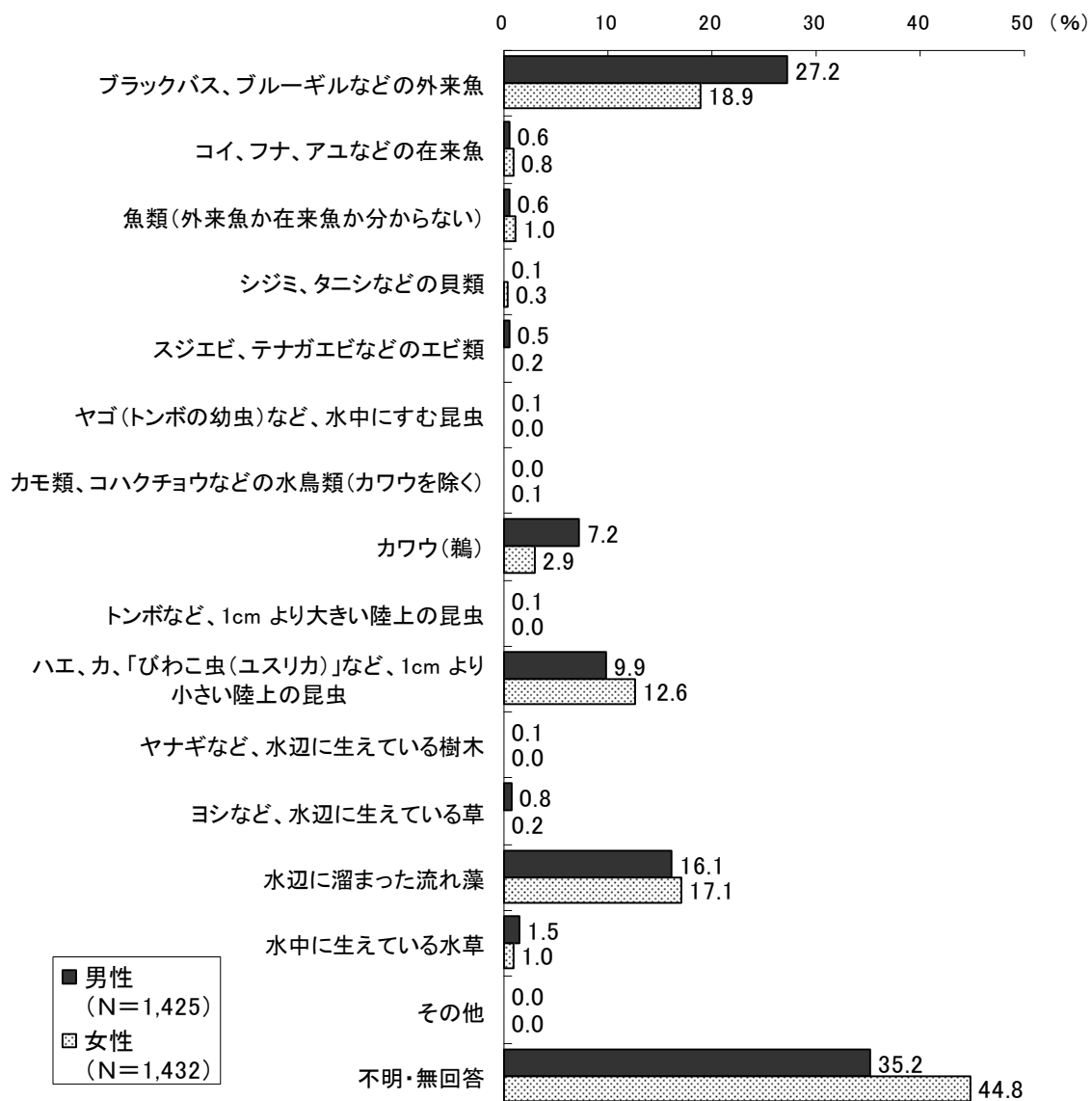
「カワウ（鶉）」は湖北・湖西地域で他の地域に比べて高くなっている。





### 【性別】

「不明・無回答」を除くと、男女とも「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が最も高いが、男性（27.2%）が女性（18.9%）に比べて8.3ポイント高くなっている。





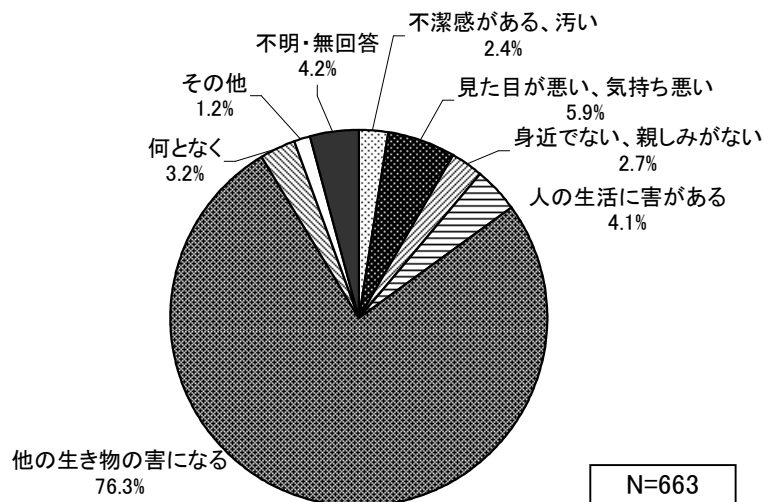
## 【性・年代別】

「不明・無回答」を除くと、男女とも30歳代では、「水辺に溜まった流れ藻」が、女性の40歳代では「ハエ、カ、『びわこ虫（ユスリカ）』など、1cmより小さい陸上の昆虫」が、男女ともその他の年代では「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」が最も高くなっている。

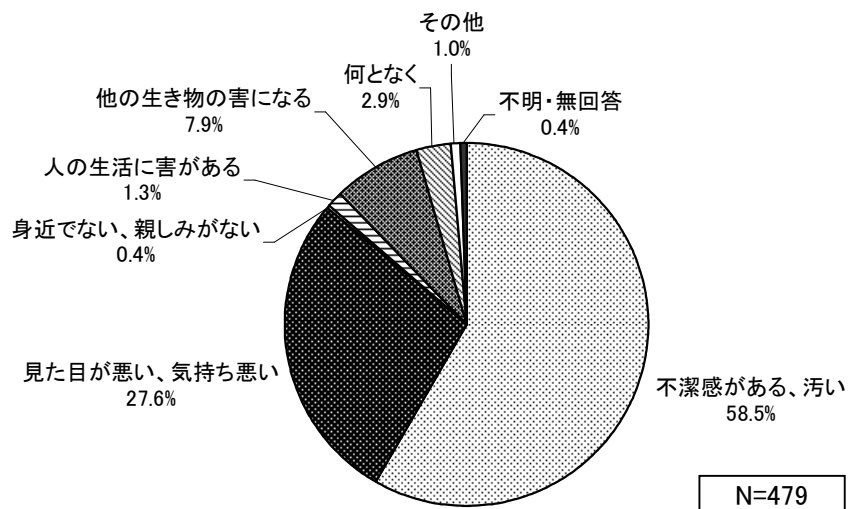
### 4) 最も悪い印象の生き物を選んだ理由（回答数が100件以上あった項目のみ）

最も悪い印象の生き物について、選んだ理由をみると、「ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚」では、「他の生き物の害になる」が76.3%で大多数を占めている。「水辺に溜まった流れ藻」では、「不潔感がある、汚い」が58.5%で5割を超えている。「ハエ、カ、『びわこ虫（ユスリカ）』など、1cmより小さい陸上の昆虫」では、「不潔感がある、汚い」が37.4%と最も高く、次いで「人の生活に害がある」が35.0%と続いている。「カワウ（鶺鴒）」では、「他の生き物の害になる」が36.7%と最も高く、「人の生活に害がある」が29.3%で続いている。

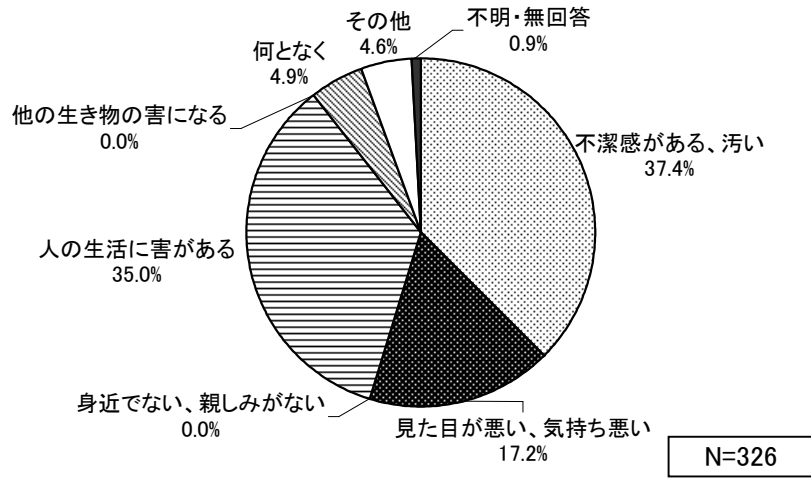
#### 1.ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚



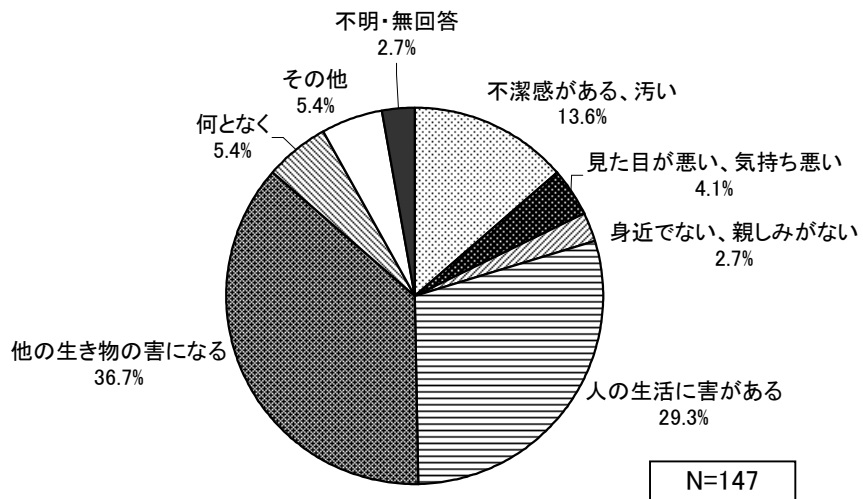
#### 13.水辺に溜まった流れ藻



10.ハエ、カ、「びわこ虫(ユスリカ)」  
 など、1cmより小さい陸上の昆虫



8.カワウ(鶇)



### (3) 琵琶湖の水草の状況

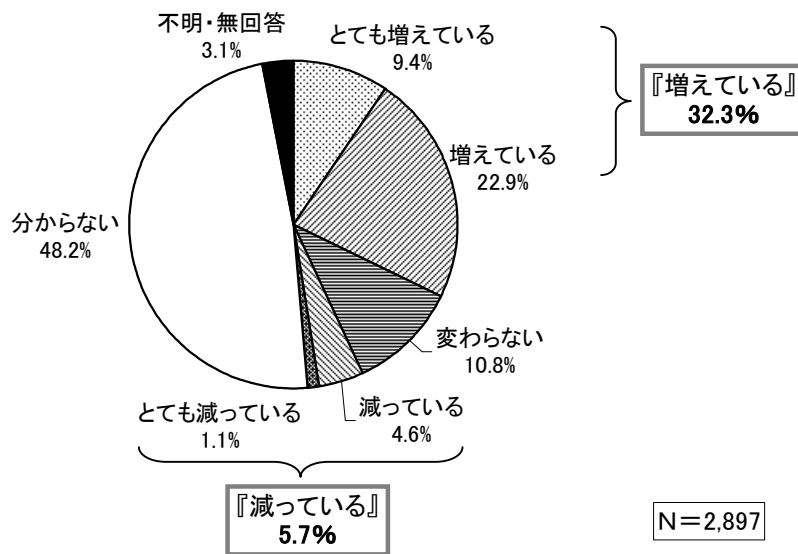
#### ① 近年の水草の増減

問 32 あなたは、問 29 で選んだ地域で、近年、水草が増えたり減ったりしていると感じますか。(〇は1つまで)

#### ◆ 「分からない」が48.2%

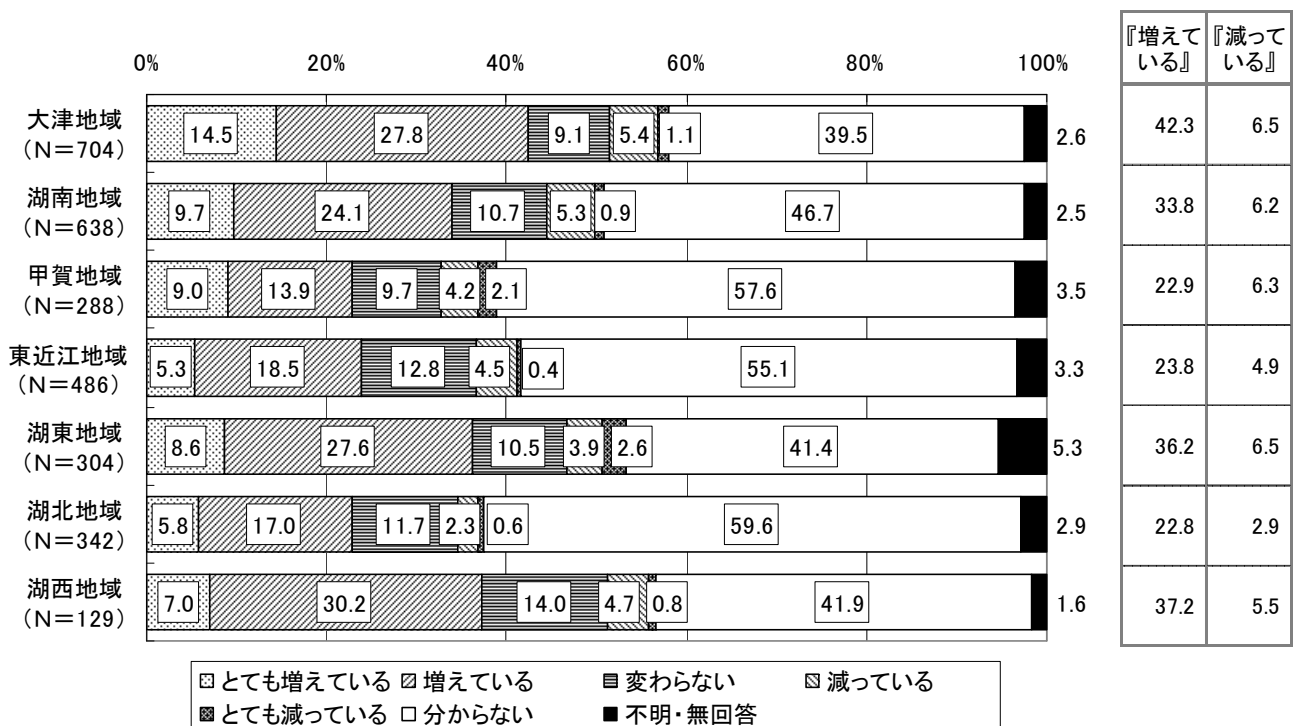
近年の水草の状況は、「分からない」が48.2%で半数近くを占め、次いで「増えている」が22.9%となっている。

『増えている』(「とても増えている」と「増えている」の合計)は32.3%、『減っている』(「減っている」と「とても減っている」の合計)は5.7%で、増えている印象を持っている人が多くなっている。



#### 【地域別】

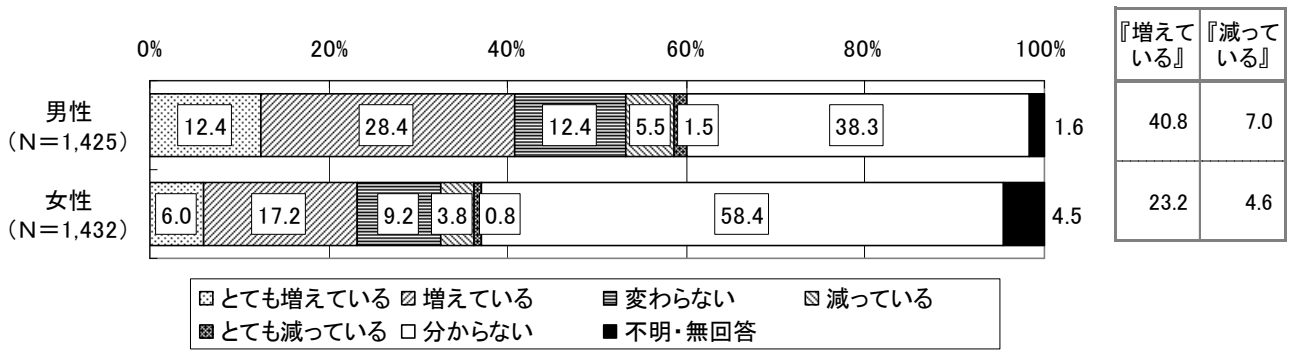
『増えている』は大津地域で最も高く42.3%となっている。



**【性別】**

女性では「分からない」が58.4%と半数以上を占め、男性（38.3%）に比べて20.1ポイントも高くなっている。

『増えている』は男性40.8%、女性23.2%で、男性の方が17.6ポイント高くなっている。



**【性・年代別】**

女性では年代が低いほど「分からない」が高くなる傾向にあり、すべての年代で女性が男性を上回っている。

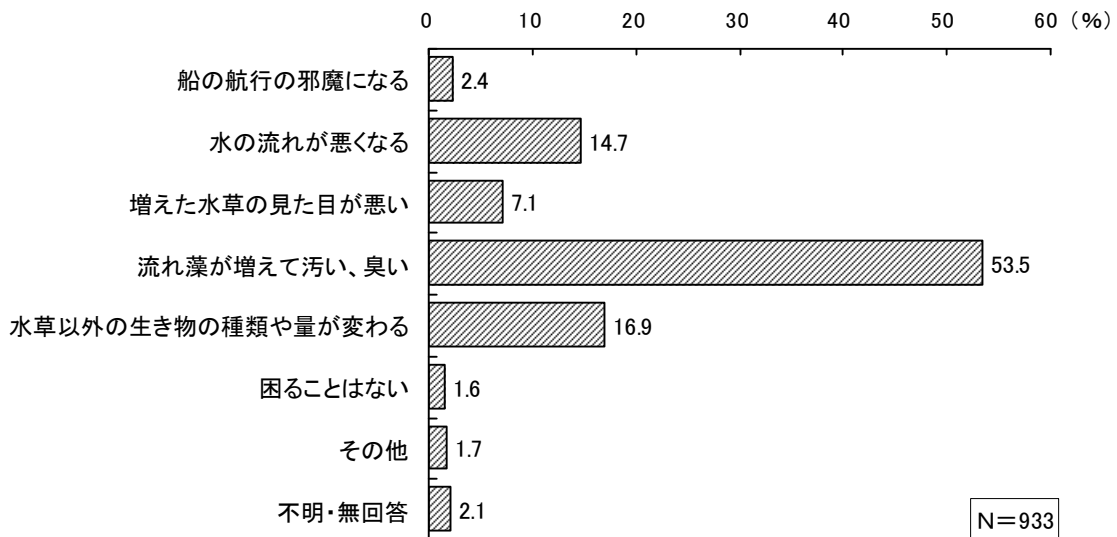
『増えている』が男女とも年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、70歳以上で男性は49.1%、女性は33.5%と最も高くなっている。

②水草が増えて困ること

付問 1 問 32 で、「1」または「2」と回答された方におたずねします。  
水草が増えると、どのようなことが最も困るとお考えですか。(〇は1つまで)

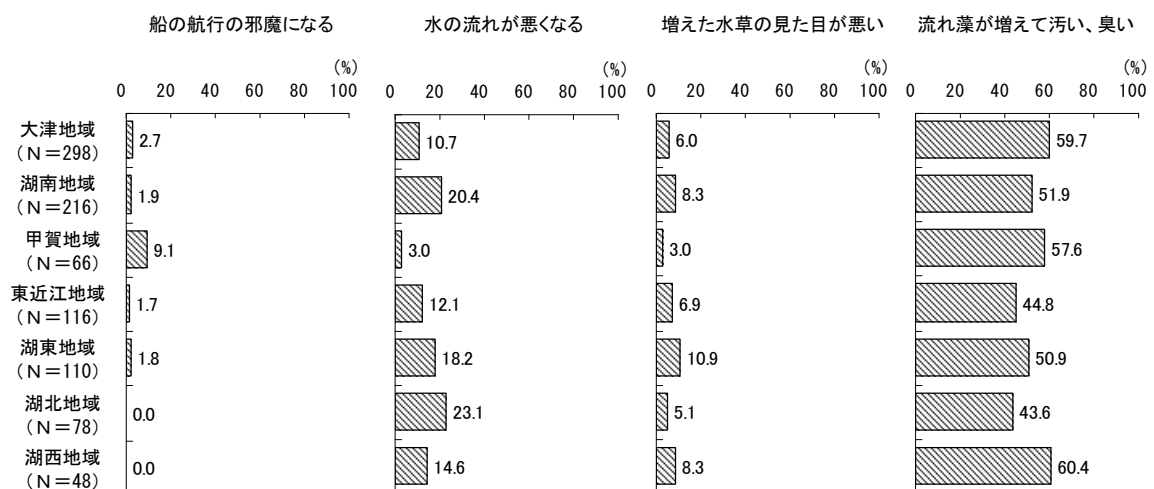
◆「流れ藻が増えて汚い、臭い」が53.5%

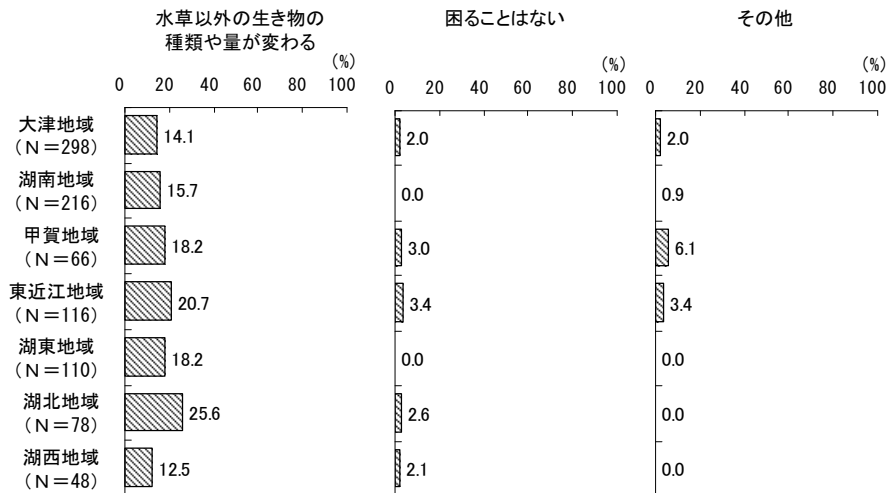
水草が増えて最も困ることは、「流れ藻が増えて汚い、臭い」が53.5%と半数以上を占めている。



【地域別】

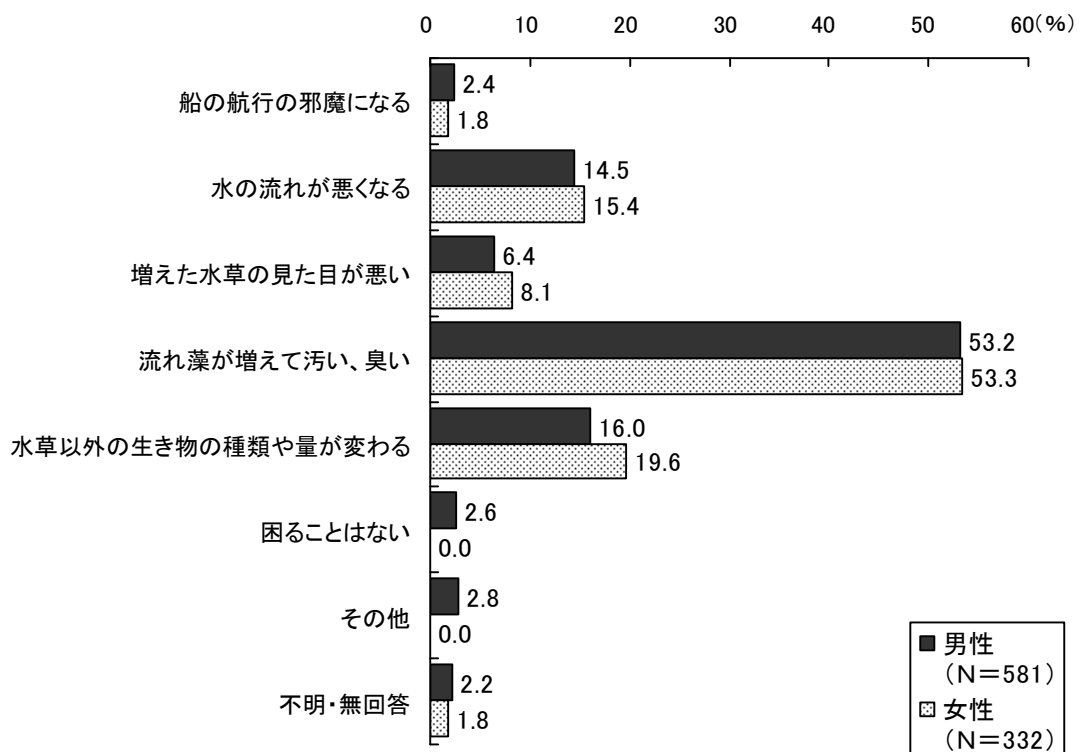
すべての地域で「流れ藻が増えて汚い、臭い」が最も高いが、中でも湖西地域(60.4%)、大津地域(59.7%)で高くなっている。





### 【性別】

男女とも「流れ藻が増えて汚い、臭い」が最も高く5割を超えている。



### 【性・年代別】

男女ともすべての年代において「流れ藻が増えて汚い、臭い」が最も高いが、男性では30歳代で75.4%、女性では20歳代で82.6%と特に高くなっている。

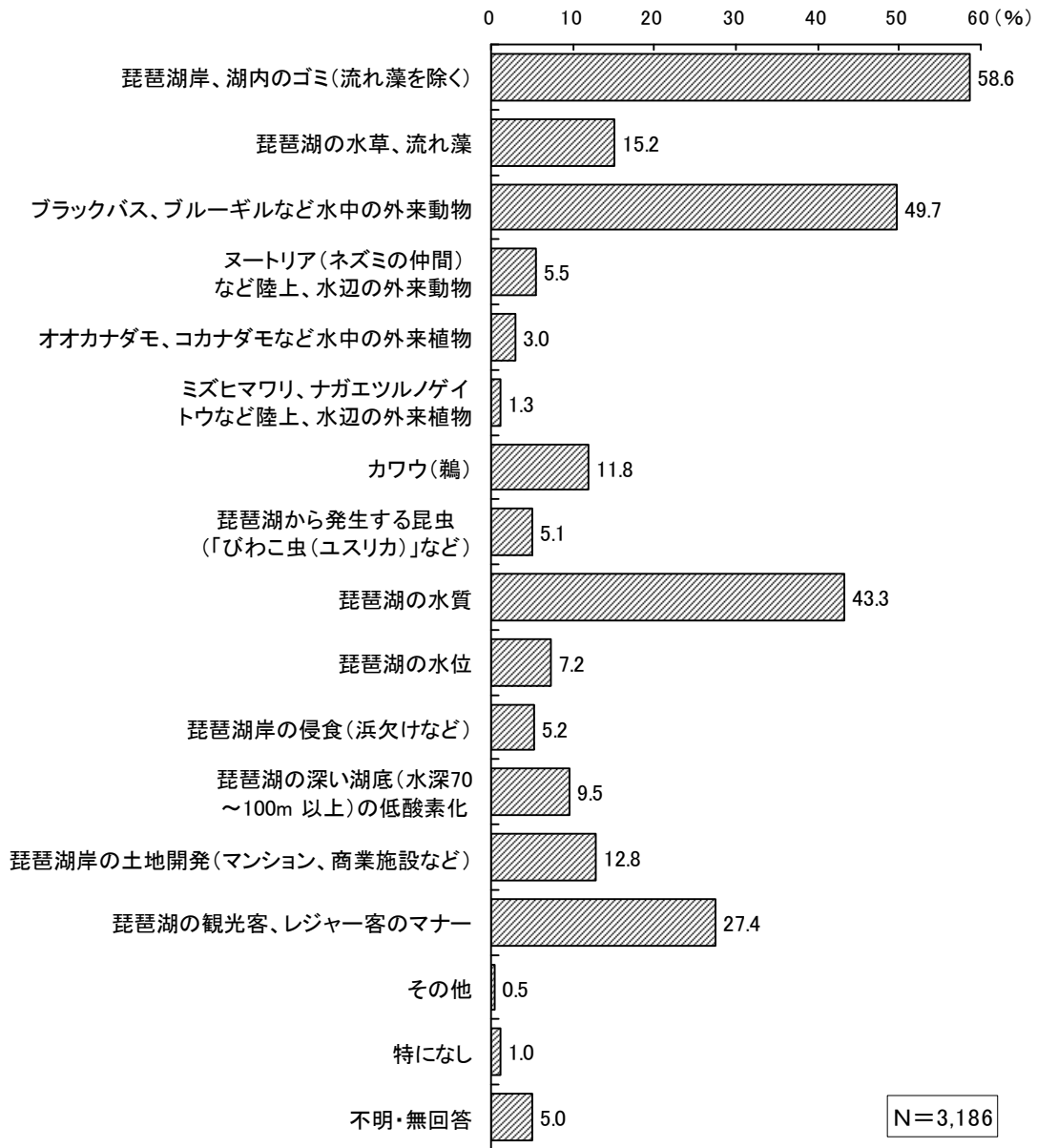
「増えた水草の見た目が悪い」は男性の20歳代で29.4%と他の年代に比べて高くなっている。

(4) 琵琶湖の環境問題

問 33 あなたは、琵琶湖の環境に関わることのうち、どのようなことが重要な問題だとお考えですか。(〇は3つまで)

◆「琵琶湖岸、湖内のゴミ(流れ藻を除く)」が 58.6%

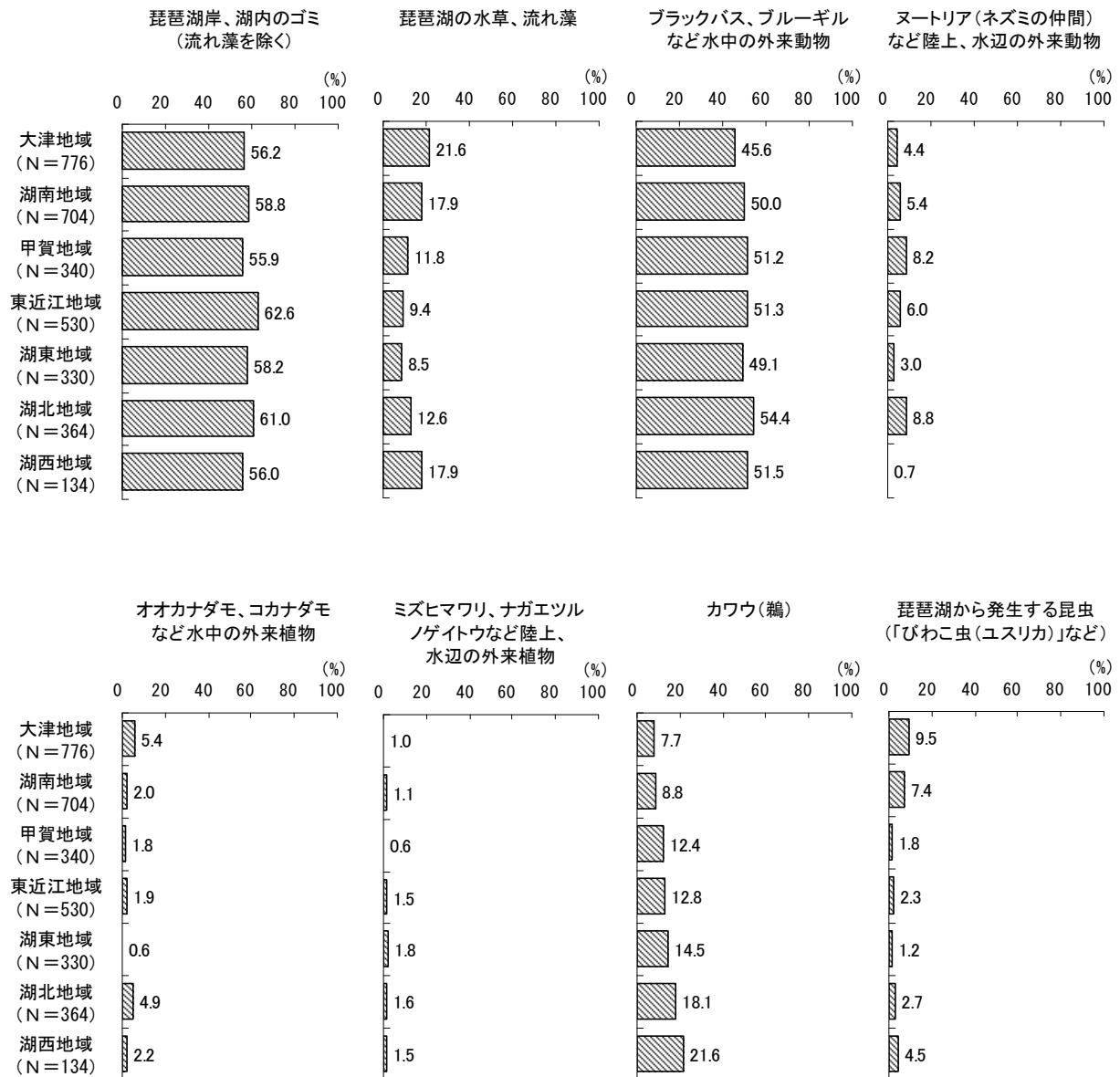
琵琶湖の環境に関わることで重要な問題は、「琵琶湖岸、湖内のゴミ(流れ藻を除く)」が 58.6%で最も高くなっている。次いで「ブラックバス、ブルーギルなど水中の外来動物」が 49.7%、「琵琶湖の水質」が 43.3%の順となっている。



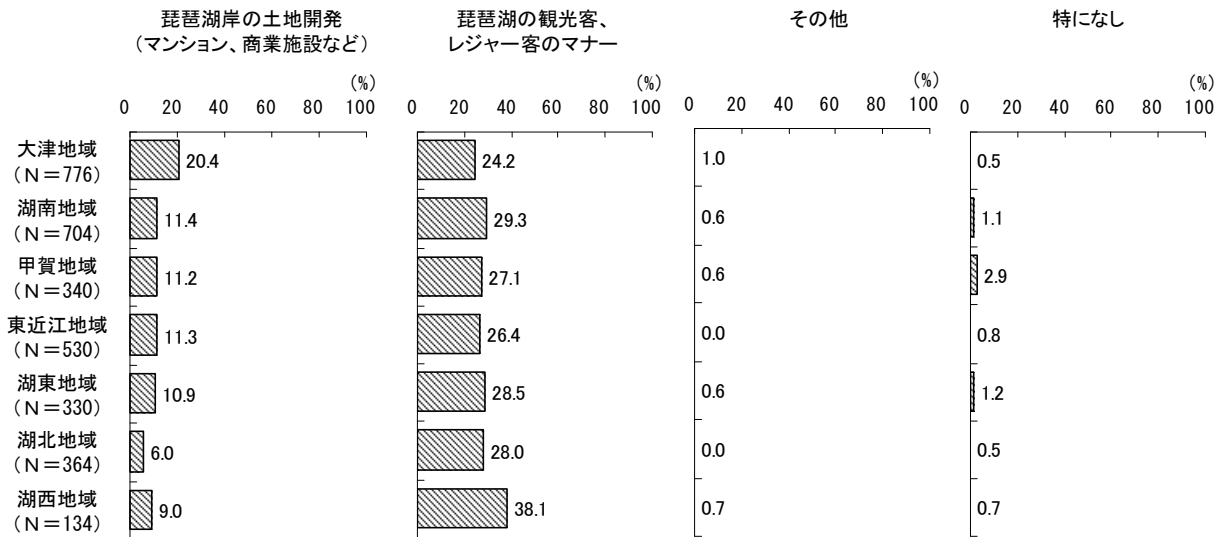
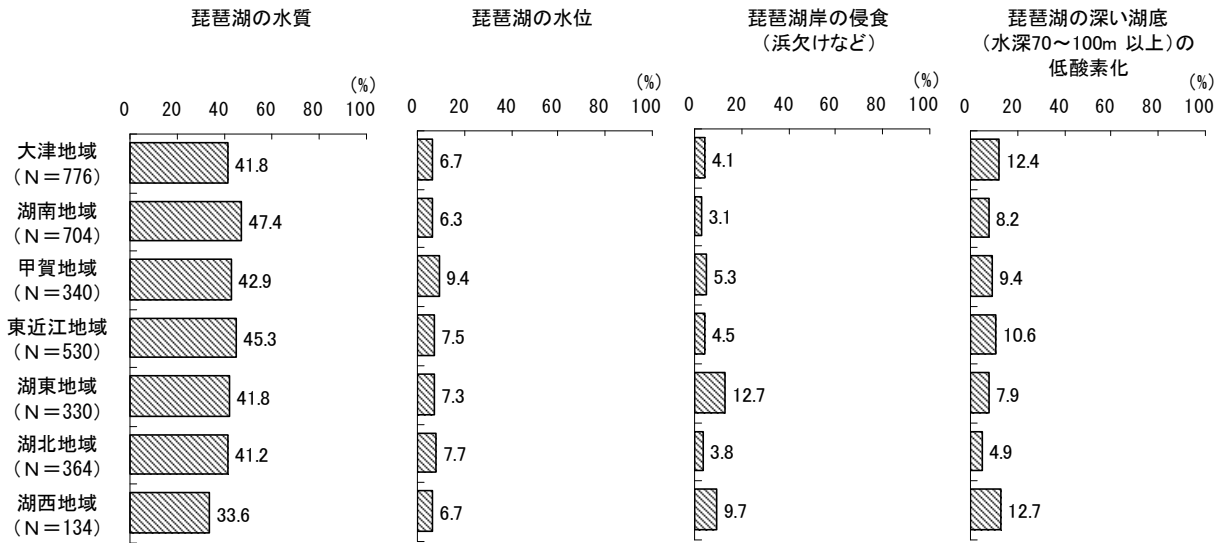
## 【地域別】

すべての地域で「琵琶湖岸、湖内のゴミ（流れ藻を除く）」が最も高く、次いで「ブラックバス、ブルーギルなど水中の外来動物」となっている。

「琵琶湖の観光客、レジャー客のマナー」は湖西地域で38.1%と、「琵琶湖岸の土地開発（マンション、商業施設など）」は大津地域で20.4%と他の地域に比べて高くなっている



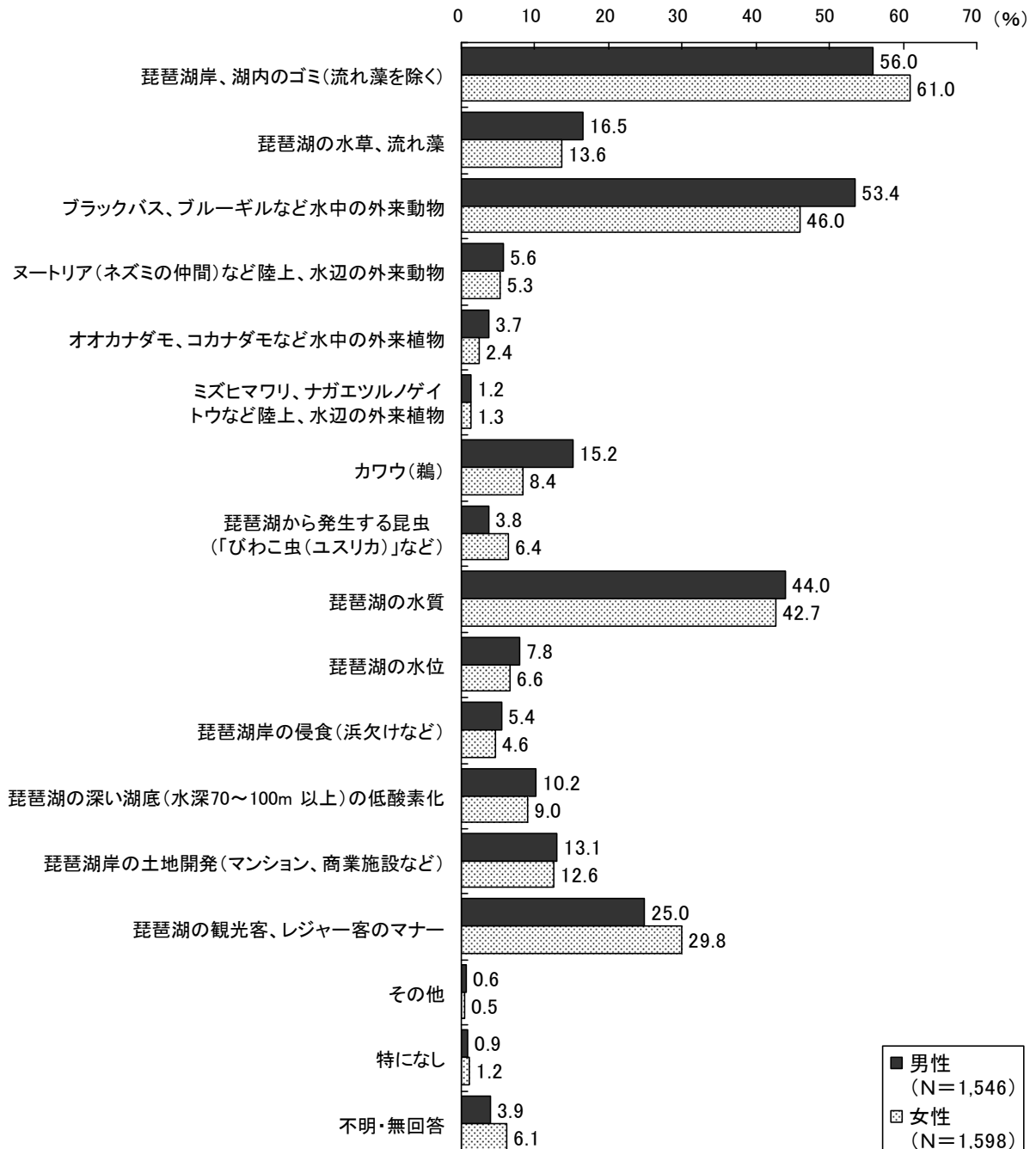




### 【性別】

男女とも「琵琶湖岸、湖内のゴミ（流れ藻を除く）」が最も高く、「ブラックバス、ブルーギルなど水中の外来動物」、「琵琶湖の水質」が続いている。

「ブラックバス、ブルーギルなど水中の外来動物」では、男性（53.4%）が女性（46.0%）を7.4ポイント上回っている。



### 【性・年代別】

男性の40・60歳代、70歳以上では「ブラックバス、ブルーギルなど水中の外来動物」が、男性のその他の年代、女性のすべての年代では「琵琶湖岸、湖内のゴミ（流れ藻を除く）」が最も高くなっている。

「琵琶湖の水質」は女性の20歳代で57.1%と、「琵琶湖の観光客、レジャー客のマナー」は女性の30歳代で43.2%と、他の年代に比べて高くなっている。